



「貴島 雄太郎 ガラス 個展」

アートギャラリーのようでギャラリーではないー

“A gallery, but not a gallery” をコンセプトにした、神戸元町山手の「BIOME (バイオーム)」(以下「BIOME」) によるKanjiru (Art) 展覧会のご案内となります。

「貴島 雄太郎 ガラス 個展」

会 期：2020年6月20日(土) ～ 28日(日)

時 間：13:00 ～ 18:30 (最終日は15:00 閉廊)

休 廊：2020年6月24日(水)

在 廊：在廊予定については、twitter、Instagramまたはウェブサイトでご確認ください。

作 品：グラスやガラスの茶の具、器など

東京で、ガラス工房 青樹舎硝子工房を主宰する貴島 雄太郎氏。多くの人たちに吹きガラスを体験してもらうため、週末は吹きガラス教室を催すなどの活動も行なっています。

たっぷり吹き、研磨された削紋ロックグラス。貴島氏の個性が上手く表現されています。

適度な重みがあり、手包みの良さは格別です。*別紙1にて作品紹介。

BIOMEで行う本個展では、日常遣いとしてはもちろんのこと、これからの季節に合ったものや、気のおけないお仲間との気軽な茶事にお遣いいただける茶の具などもご案内する予定です。

ぜひご期待ください。

アーティストのご紹介

貴島 雄太郎 (Yutaro Kijima)

- 1964年 東京生まれ
明治大学商学部卒、
武蔵野美術大学スペースデザイン
コース卒
- 1992年 損害保険会社勤務のかたわら、
吹きガラスをはじめ
- 1994年 Pilchuck Glass School参加
- 1995年 Lino Tagliapietra氏及びRudy
Gritch氏によりbest studentに
ノミネート
- 1996年 青樹舎硝子工房設立

みどころ

初春に発生した新型コロナウイルス感染拡大の影響により、「全ての展示企画が延期かキャンセルになりました。主宰の教室も感染拡大防止協力のため休業していました。この間、朝5時台にラジオ聴きながら、一人創作に没頭できる時間が最も心地よい時間」とは、貴島 雄太郎氏の弁。彼は、おおらかでのびやか。着眼大局 着手小局な人です。ご自身の作品で、呑み、酔い、使い手の身になり切って体感し、そして新たに新たに取り組む。

「8人の酒器展」でご紹介した”貴島ブローウ”を、今回は個展でご案内いたします。ガラスで仕立てられた抹茶碗や棗などの茶の具もラインナップに入れました。ぜひご期待ください。

別紙1
2020年6月



BIOME
KOBÉ, JAPAN

Kanjiru (Art) 展覧会

「貴島 雄太郎 ガラス個展」

2020年6月20日(土)～28日(日) / 13:00～18:30 (最終日は17:00 閉廊)



貴島 雄太郎 作